



onちゃんが
やってくる!

©HTB

福祉の“リアル”が聞ける セミナー2023

福祉の“いま”と“未来”が見えてくる。

将来の職業を決めるために、視野を広げてみませんか。
少しでも福祉の分野に興味があれば、気軽にご参加ください。
実績ある施設現場のリアルな声を聞いて、きっと、
自分の未来へのヒントになるはずです。

参加無料

会場参加

オンライン参加

お選びいただけます。

予約特典

事前予約者に

1,000円分の
クオカードプレゼント!

※アンケートにお答え
いただいた方のみ



参加お申込み方法



申込フォームから予約受付が可能です。

<https://forms.gle/Xutu5hYgSPndYUX38>

申込締切 | 2023年10月31日(火)



日時

2023年11月4日(土)

【セミナー】13:00～

【個別相談・交流会】14:30～

会場

札幌市中央区北一条西1丁目 札幌市民交流プラザ2F
札幌文化芸術交流センター SCARTS

参加
形式

会場参加とオンライン参加
からお選びいただけます。

対象者

中学生以上なら、
どなたでも参加可能

主催：福祉の“リアル”が聞けるセミナー実行委員会

後援

- 社会福祉法人札幌報恩会 ● 社会福祉法人新篠津福祉会 ● 社会福祉法人愛誠会 ● 社会福祉法人北海道ハピニス ● 社会福祉法人はるにれの里
- 社会福祉法人生振の里 ● 社会福祉法人北海長正会 ● 社会福祉法人北ひろしま福祉会 ● 社会福祉法人後志報恩会

HTB 北海道テレビ

セミナー・交流会・相談会

セミナー

会場参加

オンライン参加

【時間】13:00～

9つの社会福祉法人で働く若手職員と福祉の世界で活躍を目指す学生によるトークセッション。毎日の現場の様子や仕事の魅力・やりがいについて生の声が聞けます。



福祉ふれあい広場

福祉・介護用具 展示・体験コーナー

【時間】① 12:00～13:00 ② 15:30～16:30

福祉の世界を知ることができる広場。福祉施設の紹介コーナーや障がい者の雇用・就労支援を手掛ける福祉事業者がつくる食品や商品の展示、そして楽しい福祉緑日やonちゃん写真撮影会も開催します。



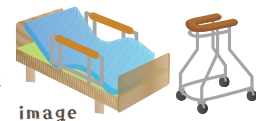
onちゃん写真撮影会

【時間】① 12:00～② 15:30～

参加者に「onちゃんシール」プレゼント!

【時間】12:00～16:30

福祉の現場で使っている人にやさしい用具に触れ合えたり、疑似体験ができます。



交流会・相談会

会場参加

オンライン参加

【時間】14:30～

「若手職員と交流」「職場環境や雇用状況の相談」などコーナーを設置し、施設や仕事について詳しくご紹介。福祉の仕事について気軽に相談できる他、施設見学・体験も受付ます。

*セミナーおよび個別相談・交流会とも会場参加の際は、感染予防対策として国のガイドラインに則り、会場参加の方には検温と手指消毒を行います。
また、体調不良の方や体温が37.5℃以上の方の入場をお断りする場合があります。

お問い合わせ(事務局)

お問い合わせ
(実行委員会事務局)

社会福祉法人 はるにれの里

〒061-3211 石狩市花川北1条5丁目171番地

MAIL syafuku.seminar@gmail.com

TEL 0133-62-8360 担当 木田(きだ)



福祉の現場の第1線で活躍しているからわかる仕事の魅力。
 セミナーでは札幌近郊で働く、9名の職員のリアルな声と、
 福祉の世界で活躍を目指し学んでいる学生の熱い思いをお届けします。



障がい者支援施設 新しのお幸生園
高橋 周利 さん

もともとお肉屋さんで働いていましたが、紹介を受けて現在の職場に。副主任として障がい者支援施設の男子棟の責任者を任されています。違う職種から福祉の世界に入りたくさん失敗も重ねてきましたが、その中から学び、自分の生まれ育った町に貢献したいと思っています。



01

職員 File

社会福祉法人 北海道ハピニス
鈴木 くりみ さん

小学校の時に仲良かった友達が障がいを持っていてくれたことをきっかけに、将来は障がい者に関わる仕事をと考えるようになり、大学で社会福祉士の資格を取得。前職の相談員とヘルパーを経て、今は障がい者施設で2つのグループを担当。福祉の幅広い仕事について知ってもらいたいです。



02

職員 File

障害者支援施設 北広島リハビリセンター
前野 遼 さん

リハビリセンターで利用者様の日常の介助に携わっています。福祉とは無縁の学校の卒業でしたが、施設説明会で「君は笑顔も良いし、利用者さんも喜んでくれるよ」と背中を推され入社。いまは自分が成長でき、利用者様と信頼関係が築ける福祉の仕事にとってもやりがいを感じています。



03

職員 File

障がい者支援施設 厚田はまなす園
森田 恵水 さん



大学時代に子供と関わるバイトをしていた時に発達障がいについてと、その支援について知り、福祉の仕事を目指すきっかけに。職場の障がい者入所施設では、食事の介助や物品、スケジュールの管理などを担当し、ひとりひとりの個性に合わせた対応を心がけています。

04

職員 File

指定障がい者支援施設 とみがおか
小笠原 大晃 さん



福祉の仕事に誇りとやりがいをもってしているものとして、これから職業として福祉の世界を目指す人には、イメージや偏見で思い込みをせず、まずは経験してみる一歩を踏み出して欲しいです。利用者様に対する自分の思いがカタチになる素敵な仕事だと、きっと気づいてもらえると思います。

05

職員 File

社会福祉法人 生振の里
松田 しぐさ さん



小さいころから母親が働いているグループホームにお邪魔することが多く福祉の分野へ。保育士、幼稚園教諭二種、社会福祉主事任用資格も取得しました。仕事はコミュニケーション力がつき、小さな変化にも気付けるチカラや協調性が身につく、自分の成長にプラスになっています。

06

職員 File

障害者支援施設 銀山学園
仁部 亮平 さん

所属ユニットでは、発達障がいの方や統合失調症などを患った利用者さんを担当しています。中学2年の時に地元の福祉施設の行事に参加。高校の時に現在の職場を見学したことを契機に入職「人の役に立つ仕事したい」という学生時代の想いを実現でき、喜びを感じています。



07

職員 File

デイサービスセンター こすもす
三上 葉月 さん

結婚と現在居住するむかわ町への移住が決まり、もともと興味があった福祉業界と縁があり現在の職場に。利用者さんからかけられる「ありがとう」という言葉に満足感を直接感じている日々です。人口が少ない町だからこそ地域に密着したサービス提供を心掛けています。



08

職員 File

社会福祉法人 札幌報恩会
熊木 博耶 さん

自分の性格を良く知っている親から「福祉の仕事が向いているのでは」とアドバイスもあり、今の職場に入社。知的障がい者の生活支援員として活動しています。利用者様が喜んでる姿を見るとやりがいに繋がります。自分が誰かの役に立っていることを実感しやすい仕事です。



09

職員 File

せいとく介護こども福祉専門学校
 介護福祉科 2年
八木 美遥 さん



母親が介護士をしていて私も母のようになりたいと思い福祉分野に進学。利用者にも、その家族にも、同じ職場仲間にも信頼される介護福祉士を目指し頑張っています。

01

学生 File

せいとく介護こども福祉専門学校
 介護福祉科 2年
松林 優衣 さん



姉が障がいを持っていて助けたいという気持ちから介護を学ぶ道へ。学校で知識と技術を習得して、利用者ひとりひとりに寄り添った介護をし、その生活を豊かにしたいです。

02

学生 File

せいとく介護こども福祉専門学校
 介護福祉科 2年
竹内 彩 さん



「人の役に立つ仕事になりたい」。これがきっかけで介護の勉強ができる専門学校に進学。将来は主任になれるように知識と技術を磨き、周りを見て行動できるようにになります。

03

学生 File

せいとく介護こども福祉専門学校
 介護福祉科 2年
駒井 瑠依 さん



2年生のいま、学校で医療的ケアなどより専門的なことを学んでいます。学校以外でも施設で行っているボランティアに参加したり、将来に繋がることにチャレンジしています。

04

学生 File